

授 業 科 目 名	疾患別理学療法Ⅲ（整形②）	授 業 形 態	演 習
		配 当 学 期	2年（後期）
担 当 教 員 名	平塚 将嗣、井東 優貴	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>整形外科領域は理学療法の対象となる主要分野の1つである。解剖学、運動学、主要整形外科疾患の障害像と病態を復習しながら、術式を含めた、その評価、問題点の抽出、その後療法や理学療法実施に必要な知識を学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整形外科疾患に対しての評価の流れを理解する。 ・疾患特有の症状を踏まえて障害像をとらえることが出来る。 		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	関節リウマチの疾患概要、関節リウマチの評価①		〔平塚〕
第 2 回	関節リウマチの疾患概要、関節リウマチの評価②		〔平塚〕
第 3 回	骨折術後の浮腫に対する理学療法		〔平塚〕
第 4 回	骨折に対する理学療法の実際		〔平塚〕
第 5 回	上肢帯～手関節 骨折に対する理学療法①		〔平塚〕
第 6 回	上肢帯～手関節 骨折に対する理学療法②		〔平塚〕
第 7 回	上肢帯～手関節 骨折に対する理学療法③		〔平塚〕
第 8 回	下肢の骨折に対する理学療法①		〔平塚〕
第 9 回	下肢の骨折に対する理学療法②		〔平塚〕
第 10 回	下肢の骨折に対する理学療法③		〔平塚〕
第 11 回	腰椎椎間板ヘルニアに対する理学療法		〔井東〕
第 12 回	脊柱管狭窄症に対する理学療法		〔井東〕
第 13 回	大腿骨頸部骨折に対する理学療法		〔井東〕
第 14 回	大腿骨転子部骨折に対する理学療法		〔井東〕
第 15 回	変形性膝関節症に対する理学療法		〔井東〕
評価方法	筆記試験80%、レポート20% の結果で総合的に評価する。		
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 Crosslink 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学（メジカルビュー社） 画像所見（医学書院）</p> <p>〔参考図書〕 ここがポイント！整形外科疾患の理学療法（金原出版） 標準整形外科学（医学書院）、標準理学療法学 運動療法学 各論（医学書院）</p>		
履修上の 留意点	各授業前に基礎的医学知識（解剖・運動学・整形外科疾患に関する知識等）をしっかりと復習しておくこと。		
メッセージ	受け身ではなく、「自発的に学んでいく、疑問点を追及していく姿勢」を大事にしてください。		